令和元年度 学長戦略経費(公募型プロジェクト)研究成果概要報告書

経費の種類	□共同研究推進 □若手教員研究支援 ■個人研究支援
	□研究推進重点設備 □研究推進設備修繕
プロジェクトの名称	持続可能な地域づくりに向けたコミュニティ・スクールの発展過程に関する調査研究
報告者氏名・所属・職名	安井 智恵・ 大学院教育学研究科・ 准教授
プロジェクト担当者氏名・ 所属・職名	安井 智恵・ 大学院教育学研究科・ 准教授

研究内容及び成果の概要

地域社会の持続可能性の実現に向け、将来の地域づくりを担う地域人材を育成することが喫緊の課題である。学校教育を通じて、そのような地域人材の育成を目指すところに「地域とともにある学校」を謳うコミュニティ・スクールの新しさがあるが、そのためには学校の内外に地域人材育成に向けた連携・協働の仕組みを構築していく必要がある。本研究では、持続可能な地域づくりに向けた地域人材育成を目的に、学校と地域の連携・協働の取り組みを展開するコミュニティ・スクールを「地域創造型学校」と規定する。参与観察および質問紙調査やインタビュー調査に基づいて、学校と地域の連携・協働は、「学校支援・地域活用型」「学校支援・地域参加型」を経て「地域創造型」へ至るとの仮説を得た(【表1】)。

【表1】地域とともにある学校づくりの3類型

類型・方向性	価値観・意識・取り組み	背景にある理論モデル
① <u>学校支援・地域活用型</u> 学校 ← 地域	・学校資源としての地域・学校・地域の情報共有・地域人材の活用	学校・家庭・地域の連携 開かれた学校づくり論
②学校支援・地域参加型 学校 ↔ 地域	・学校資源としての地域・地域参加による信頼構築・地域教育力の再構築	教育コミュニティ論学社連携・融合論
③ <u>地域創造型</u> 学校 ↔ 地域	・地域資源としての学校・学校を核とした 地域づくり・地域の教育力向上・子ども の学力向上 ・地域の課題意識を学校と地域が共有・地 方創生・地域人材育成	地域教育計画論 地域とともにある学校づ くり論

上記研究の成果を踏まえ、より広範な事例に関する質問紙調査を行い、コミュニティ・スクールが「地域 創造型学校」へと発展する過程を明らかにした。コミュニティ・スクール指定年数の短い学校は、「学校支援・地域活用型」が多く、「地域創造型」に至るには、数年の年月が必要であることが分かった。また、先進事例校を選定し、観察調査・インタビュー調査から「地域創造型学校」の実態を明らかにした。

成果の公表の状況

【著書】

【学術論文】

教育現場で活用可能な分野・教材等

「地域とともにある学校づくり」は、従来型の学校・地域の連携や、「学校支援・地域活用型」コミュニティ・スクールを早急に拡大するだけでは形骸化する可能性がある。このような状況に対し、本研究は新たな 展開をもたらすことができると考える。

配布又はダウンロード可能な資料	1	
問合わせ先	代表者:	安井智恵
	電 話:	0154-44-3315
	FAX :	0154-44-3218
	mail :	vasui, tomoe@k, hokkvodai, ac. ip